

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【公表番号】特表 2005-519362(P2005-519362A)
 【公表日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-025
 【出願番号】特願 2003-571820(P2003-571820)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/00 6 5 1 A

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 17/60 1 6 2 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 1 月 17 日 (2006.1.17)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プリプレスワークフローシステムにおいてジョブを処理するためにユーザーインターフェースを調整する方法であって、

- 前記ジョブのジョブ形式をチェックし、
- 前記ジョブ形式に応じて前記ユーザーインターフェースを自動的に調整する段階を含んだ方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法の諸段階を実行するための手段を備えたデータ処理システム。

【請求項 3】

プログラムがコンピューター上で走っているときに請求項 1 に記載の方法の諸段階を実行するようにされたコンピュータープログラムコード手段を備えるコンピュータープログラム。

【請求項 4】

コンピューター上で走っているときに請求項 1 に記載の方法を実行するようにされたプログラムコードを備えたコンピューター可読の媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 4 】

本発明の好ましい実施例を詳細に説明したが、本技術熟練者には、特許請求の範囲に定められた本発明の範囲から離れることなく多くの変更をなし得ることが明らかであろう。本発明の好ましい態様を整理して記載すれば、下記のとおりである。

1. プリプレスワークフローシステムにおいてジョブを処理するためにユーザーインタ

ーフェースを調整する方法であって、

- 前記ジョブのジョブ形式をチェックし、

- 前記ジョブ形式に応じて前記ユーザーインターフェースを自動的に調整する

段階を含んだ方法。

2 . 前記ジョブ形式が、コマーシャル印刷産業のためのジョブ形式及びパッケージング印刷産業のためのジョブ形式のグループから選定される上記 1 による方法。

3 . - 前記ジョブ形式に応じて前記ユーザーインターフェースのレイアウトを自動的に調整する

段階を更に含む上記 1 - 2 のいずれか一つによる方法。

4 . - 前記ユーザーインターフェースにおける前記ジョブ形式のための適切な用語を自動的に調整する

段階を更に含む上記 1 - 3 のいずれか一つによる方法。

5 . - 前記ジョブ形式用のパラメーターを設定し、

- 前記パラメーターに応じて前記ユーザーインターフェースにおいて特定のデータを表示する

段階を更に含む上記 1 - 4 のいずれか一つによる方法。

6 . - 前記ジョブ形式用の入力データを受け取り、

- 前記入力データの起源をチェックし、

- 前記起源に基づいて前記ジョブ形式を決定する

ことを更に含む上記 1 - 5 のいずれか一つによる方法。

7 . - 前記ジョブに関するデータの特性をチェックし、

- 前記特性に基づいて前記ジョブ形式を決定する

ことを更に含む上記 1 - 5 のいずれか一つによる方法。

8 . - ユーザーにより前記ジョブ形式を決定し、

- 前記決定されたジョブ形式を記憶する

ことを更に含み、

前記記憶する段階が、前記ジョブ形式をチェックする前記段階に上記 1 - 5 のいずれか一つによる方法。

9 . - 新しいジョブ形式を作り、

- 前記プリプレスワークフローシステムにおける前記新しいジョブ形式のジョブを処理するためにユーザーにより新しいユーザーインターフェースを定める

諸段階を更に含む上記 1 - 8 のいずれか一つによる方法。

10 . 上記 1 - 9 のいずれか一つによる方法の諸段階を実行するための手段を備えたデータ処理システム。

11 . プログラムがコンピューター上で走っているときに上記 1 - 9 のいずれか一つによる方法の諸段階を実行するようにされたコンピュータープログラムコード手段を備えるコンピュータープログラム。

12 . コンピューター上で走っているときに上記 1 - 9 のいずれか一つによる方法を実行するようにされたプログラムコードを備えたコンピューター可読の媒体。